

科目名： 観光総論 I－II

単位/授業時間/期間	1 単位/18 時間/後期	学科・学年	ホテル科 1 年
担当教員名	木須 紀子	講師の実務経験	旅行会社勤務歴 13 年
授業形態	講義・演習	資格等	
授業の目的 (Course Objectives)	観光の基礎概念、歴史、観光行動、観光産業の構造について体系的に理解することを目的とする。さらに、観光が地域社会・文化・経済に与える影響を多角的に考察し、持続可能な観光のあり方を検討する。観光地の課題分析を通して、将来の観光関連業務に応用できる視点を育成する。		
到達目標 (Learning Outcomes)	本授業を履修することで、学生は次の能力を身につける。 1. 自然・文化・産業などの観光資源を地域の特性に応じて価値や課題を評価できる。 2. 観光立国としての現状の課題から今後の発展に向けてデザインができる。 3. 日本地理検定の知識習得ができる。		
成績評価方法 (Assessment)	・出席：20% (100%=20 点 90%以上=15 点 80%以上=10 点) ・平常点：(授業態度・ワーク)：30% ・課題：プランニング 20% ・最終テスト：プレゼンテーション：30%		
学修時間の内訳 (合計 45 時間)	・授業(対面) 18 時間 90×12 回 ・授業外学習 6 時間 フィールドワーク ・事前学修 6 時間 観光資源の調査 ・事後学修 8 時間 振り返り・レポート作成 ・課題・レポート 7 時間 プレゼンテーション準備・最終レポート		
準備学習・復習 (Pre & Post Learning)	・テキストの該当範囲を事前に確認し、扱う地域やテーマについて簡単に調べておく。 ・授業で学んだ観光の基礎概念をノートや資料で整理する。 ・フィールドワークでの気づきや観察内容をまとめ、講義内容と結びつけて振り返る。		
教科書・参考文献	・指定なし(オリジナル配布)		
受講上の注意	・講義・ワーク・フィールドワークのいずれにも積極的に参加すること。 ・現地活動では地域の方々や環境に配慮した行動を心がけること。 ・授業中はパソコンを必要とするため準備すること。		
回数	授業内容		
第 1 回	第 3 ブロック:観光の課題と分析(1～6 回)/持続可能な観光(SDGs・環境負荷)		
第 2 回	オーバーツーリズムと観光公害		
第 3 回	地域文化と観光の関係(文化保護・商業化)		
第 4 回	観光危機管理(災害・感染症・リスク)		
第 5 回	観光地の課題分析(国内外の事例)		
第 6 回	中間まとめ・小レポート発表		
第 7 回	第 4 ブロック:応用・実践(7～12 回)		
第 8 回	地域観光の企画づくり(ワークショップ)		
第 9 回	観光地の改善提案(グループワーク)		
第 10 回	プレゼンテーション準備		
第 11 回	最終発表(観光地分析・企画提案)		
第 12 回	総括・振り返り・今後の学びにつなげる		